

J R ローカル線の維持に関する意見書

鉄道ネットワークは、全国で公平に安定して提供されるべきユニバーサルサービスとしての役割を有するとともに、J R ローカル線は、地域住民の日常生活や観光・交流による地域活性化に欠かせない重要な交通インフラとして、将来にわたって路線を維持することが必要不可欠である。

また、広域的な鉄道ネットワークは、災害時には迂回ルートとして使用され、リダンダンシー機能を発揮することなどから、国全体、地域双方にとって重要な社会インフラである。

兵庫県においては、関係市町、事業者、有識者等で構成する「J R ローカル線維持・利用促進検討協議会」が設置され、路線維持に向けた協議が行われている。国においては、特定区間の採算性のみで廃止が議論されることがないように、路線維持に向けた積極的な関与と必要な支援措置を講じられるよう強く要請する。

記

- 1 鉄道ネットワークを維持するためのあるべき姿を、国の責務として検討すること。
- 2 J R 赤字路線への支援制度を創設すること。
- 3 鉄道路線を維持活性化するため、鉄道駅周辺の利用者の利便性向上や交通結節機能の向上に資する自由通路や駅前広場の整備等に対する財政支援を拡充すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 5 年 6 月 28 日

豊岡市議会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
国土交通大臣

} 殿